くすりのしおり

注射剤
2015 年 7 月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：アルケラン静注用 50mg
主成分：メルファラン(Melphalan)
剤形：注射剤
シート記載：

この薬の作用と効果について

造血幹細胞移植の前に使用し、抗腫瘍効果や骨髄抑制作用により移植した造血幹細胞が骨髄中で正常に働くのを助けます。
通常、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、小児固形腫瘍の移植時に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。重症感染症がある。
・妊娠または授乳中
・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

・あなたの用法・用量は<< :医療担当者記入>>
・通常、1 日 1 回静脈内に注入または点滴します。
・造血幹細胞移植を行う前に、通常 2 日から 3 日間使用します。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、感染症、下痢、口内炎・粘膜炎、吐き気・嘔吐などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。
このような場合には使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

・熱が出る、身体がだるい、風邪のような症状［感染症および出血］
・息が苦しくなる、蕁麻疹、眼や口唇の周囲が腫れる［ショック、アナフィラキシー様症状］
・胸の痛み、胸がどきどきする、息が切れる［心筋症、不整脈］
・熱がでる、痰がからまない咳、呼吸をしにくい［間質性肺炎、肺線維症］
・疲れやすい、全身がだるい、息が切れる［溶血性貧血］

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年　　月　　日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。